



Little Diamonds

YOUTH

プリンスリーグ 第7節 市立船橋戦で勝ち越し 4勝3敗、グループ4位で中断へ

鈴木竜基(突破がPKを誘う)



広瀬祐太

佐藤謙介



丸山和男

林 容平



大谷幸輝

浜田水輝



山田直輝



4月9日から始まったJFAプリンスリーグU-18関東2006で、浦和レッズユースは第7節を終え4勝3敗。勝ち越しで7月2日の再開を待つ。

初戦からの3試合を、いずれも途中勝ち越されたり、先制されたりと苦戦しながら3連勝したレッズユースだったが、第4節のFC東京戦で初黒星を喫すると3連敗してしまった。

上位進出に後がなくなった第7節は、2位の市立船橋高と対戦。先制するも前半24分に村松が2回目の警告で退場となり、その2分後に同点とされる嫌な展開になった。しかし10人が結束を固めて臨んだ後半、数的不利を感じさせない攻撃が2本のPKを生み、3-1とリード。33分に1点差に詰め寄せられたが、終了間際に駄目押しの4点目を挙げ、4-2で勝利した。

第7節を終え、Aグループ4位。首位の横浜Mユースとの差が勝点7となったため優勝の可能性はなくなったが、高円宮杯全日本ユース出場権に大きく影響するグループ2~3位には手が届く位置につけ、残り2試合に臨む。

ACTION RESULT

プリンスリーグU-18関東2006

- 4/9 3-2(前半2-2)前橋商業高
得：鈴木竜基2、佐藤謙介
- 4/16 5-3(前半2-2)韮崎高
得：広瀬祐太3、鈴木竜基、林容平
- 4/23 3-2(前半0-1)高崎経済大付属高
得：林容平、鈴木竜基2
- 4/30 1-2(前半1-2)FC東京U-18
得：鈴木竜基
- 5/7 0-2(前半0-1)八千代高
- 5/14 0-1(前半0-0)鹿島ユース
- 5/21 4-2(前半1-1)市立船橋高
得：佐藤謙介、鈴木竜基、金生谷仁、山田直輝

ACTION SCHEDULE

プリンスリーグU-18関東2006

- 7/2 小山南高(駒場・13時半)
- 7/9 横浜Mユース(日産フィールド小机・11時)
- 7/15、17 順位決定戦

プリンスリーグあと2試合で上位進出を！

クラブユース(U-18)関東予選も始まる

チームに勢いをつけた市船戦

監督 広瀬 治

3連勝していたときも必ず失点し、最終的に得点が失点を上回って勝ってきたんですが、FC東京戦で初めて負けてしまいました。実は春休みから19試合ぐらい戦ってきて、これが2つめの敗戦でした。そこから、それまで良かった粘り強さがなくなり、得点を挙げることができず、八千代高校に負けてしまいました。疲れが出てきたこともあると思います。

鹿島ユース戦は、ボールを奪っても守備のことが頭にあって、なかなかいい攻撃ができませんでした。シュート4本というのは、それまでになかったことです。

市船戦は、守るだけでは勝てないんだ、ボールを持ったら積極的に攻めていこうと確認直して臨みました。立ち上がりは非常に良い攻撃ができて先制し、久しぶりにいい流れで試合ができていたんですが、警告に値しないようなプレーで村松が退場になり、すぐに同点にされると、レッズを勝たせてくれない何かがあるような展開でした。

村松が悪質なファウルで退場になったのではないことをチームメイトが知っていましたから、後半は「ムラのためにも」という気持ちで全員が運動量を増やし、一つになれました。5バックにすることも考えましたが、そうするとまた意識が守りになってしまうので、そのままのシステムで戦いました。

市船戦の勝利はプリンスリーグの順位を保つためにも重要でしたし、これから始まるクラブユースの関東大会に向けてもチームの勢いをつけるものになりました。



市立船橋戦の試合後、ミーティングする広瀬監督

関東大会も楽に勝てる相手ではないですから、チームが一つになって自分たちの良さを出していくことが大事だと思います。勝つため、優勝するためにサッカーをする訳ではないですが、勝ちたい、優勝したいという気持ちは大事で、そのために何をしなければいけないか、ということを考えることで個人が成長していくのだと思います。

このチームで長く試合するために

MF 金生谷 仁

3勝して、いけるかなと思ったんですが1回負けたら3連敗してしまいました。市船戦に負けていたら終わりだったと思うので、そこで勝ったことはチームの強さだと思います。

負けた試合では守備にばかり気持ちがいて、いつもの攻撃ができませんでした。勝っていたときは



取られても取り返せたんです。

市船戦はみんなの気持ちが入っていたし、前半の途中でムラ(村松)が退場になって、そこでまたみんなが一つになったと思います。この気持ちを続けていけばクラブユースでもプリンスリーグでもいい成績が残せる

と思います。

クラブユースの予選リーグにはプリンスで負けたFC東京が入っていますが、2回負けるというのはあってはいけないし、みんなもそう思っているはずですから、気持ちに乗る試合になると思います。

今年で最後なので、このチームで少しでも多くやりたいから、一つひとつの試合を大事にしていこうとみんなに声をかけています。去年のチームの方がたぶん強かったかと思いますが(笑)今年も攻撃面では負けていませんし、当たりの強さとか体力などは去年より上だと思いますから、そこを生かしてやっていきたいです。

頼る人はいない。自分がやる

MF 田中宏育

プリンスリーグでは、自分のプレーは結構できてアシストなどもありましたが、もっと体を張って守れば失点を防げたところもあると思います。4勝3敗というのは、簡単に勝たせてもらえない、勝負の厳しさを感じます。去年は堤先輩とか守備の中心がいて、安心して攻められたんですが、今年はまだ中心になる選手がいらないのが違うところです。

去年みたいに人に頼れないので、自分がやらなくちゃという気持ちや、今年で最後なので頑張らないといけない、去年よりも全国大会に行きたい気持ちが強いです。

今はケガをしていますが、治してクラブユースの予選でも頑張りたいと思います。特にFC東京には負けられないです。



先を見ずに1試合ずつ戦う

DF 高橋大輝

プリンスリーグで良かったと思うのは、前日の市船戦でみんなが一つになって勝ったことです。良くなかったのは、集中が切れて良くない形で失点してしまった場面があることです。



4バックだと自分はどんどん前に行けるので、自分の良さを出せるから好きです。今年のチームは個人でいくよりチームで戦うチームだと思います。

いまは先発で出られてやっていて楽しいですが、1年、2年もどんどん出てきているので、まだレギュラ

ーが確定した訳ではないと思っています。これからの練習も頑張っていきたいです。

試合にレッズのサポーターの人が来て応援してくれるのはうれしいし、ありがたいです。クラブユースでは先を見ずに、一戦一戦大事に勝っていきたいです。

ACTION RESULT

日本クラブユースサッカー(U-18)選手権 関東2次リーグCグループ

- 5/27 8-0(前半4-0)フットワーク
- 得:鈴木竜基2、林容平2、金生谷仁、大谷幸輝、岡本翔平、浜田水輝

ACTION SCHEDULE

日本クラブユースサッカー(U-18)選手権 関東2次リーグCグループ

- 6/3 水戸ユース(RL・15時)
- 6/4 甲府ユース(RL・14時)
- 6/11 川崎U-18(RL・14時)
- 6/18 FC東京U-18(FC東京深川G・15時)
- 6/24日、25 順位決定戦

* RL=レッズランド

* 関東9位以上が全国大会に出場する。2次リーググループ2位以上は、その時点で関東8位以内が決定。グループ3位が他のグループ3位チームと9位決定戦を行う(2試合)

ユースの新しいメンバー

MF	池田 涼司(いけだ・りょうじ)	レッズジュニアユース
DF	井田 龍応(いだ・たつまさ)	レッズジュニアユース
GK	井部 晃貴(いべ・こうき)	上尾サッカークラブ
FW	岸 幸太郎(きし・こうたろう)	レッズジュニアユース
DF	今野 秀遊(こんの・ひでゆき)	坂戸ディプロマツ
MF	阪野 豊史(さかの・とよふみ)	三郷ジュニアユースFC
GK	柴田 大地(しばた・だいち)	FC四日市
DF	菅井 順平(すがい・じゅんべい)	レッズジュニアユース
MF	高橋 峻希(たかはし・しゅんき)	レッズジュニアユース
FW	武富 尚紀(たけとみ・なおき)	レッズジュニアユース
MF	田仲 智紀(たなか・ともり)	レッズジュニアユース
MF	永田 拓也(ながた・たくや)	レッズジュニアユース
DF	浜田 水輝(はまだ・みずき)	Santa Clara Sporting Ruckus(米国)
DF	山地 翔(やまじ・しょう)	狭山ジュニアユースFC
MF	山田 直輝(やまだ・なおき)	レッズジュニアユース
MF	和田 祐樹(わだ・ゆうき)	レッズジュニアユース

* 全員高校1年生、右は前所属チーム

7試合無失点で優勝

第21回日本クラブユース(U-15)選手権埼玉県予選

第21回日本クラブユース(U-15)選手権埼玉県予選が5月21日まで行われ、浦和レッズジュニアユースは3次リーグ3試合と決勝トーナメント4試合すべてを無失点で勝ち、2年連続4回目の優勝を果たした。全国制覇した昨年の第20回大会でも県予選では3失点しており、二連覇を目指す今季の選手たちの意気込みがうかがえる。

レッズジュニアユースは、6月10日から始まる関東大会で9位以内に入れば、8月11日から20日までJヴィレッジで行われる全国大会に出場する。

大会を通じて個人の成長を

コーチ 池田伸康



暑い中、選手たちはよくやってくれました。その結果、優勝できたことは良かったと思います。レッズと対戦するときはより力を出してくるチームが多い中で、7試合すべて無失点というのは、日頃の練習の中でフィジカルコンタクトなどを惜みずやっている成果だと思いますし、守備陣だけでなく全員の力です。

今年のチームは攻撃陣がポジションにとられず自由な攻撃ができるし、攻撃

にいく前に後ろの選手から体を張ったプレーでボールを奪えます。1試合1試合、強くなっていくのを感じました。

目の前の目標としては、関東や全国での優勝ということがクロズアップされます。たしかに勝つことによって精神的にも強くなりますし、さらにレベルの高いチームと対戦できる訳ですから、勝つことに越したことはありません。ですが、選手個人はコースに上がり、さらにトップに上がるというのが目標ですから、大会を通じて成長し、それに近づいていってほしいです。



試合は暑い日が多かった

利根川良太



岡本拓也



高橋秀行



磯部裕基



矢島倫太郎



池西 希



中島聡志

ACTION RESULT

日本クラブユースサッカー(U-15)選手権

埼玉県予選
3次リーグ

- 4/30 4-0 プレジール
得：菅本啓太 2、森田健介、宮野拓也
- 5/4 5-0 越谷 FC
得：原口元気、菅本啓太、矢島倫太郎、磯部裕基、OG
- 5/6 9-0 クラブと野
得：矢島倫太郎 5、菅本啓太 2、利根川良太、磯部裕基

決勝トーナメント(1回戦~決勝)

- 5/13 5-0 東松山ペレーニア
得：原口元気 2、菅本啓太、利根川良太、磯部裕基
- 5/14 7-0 東春 72
得：原口元気 2、利根川良太 2、加瀬光 2、磯部裕基
- 5/20 2-0 フェスタ FC
得：矢島倫太郎、磯部裕基
- 5/21 1-0 クマガヤ SC
得：原口元気

ACTION SCHEDULE

- 6/10、11、17
関東大会グループリーグ
- 7/1、2、8、9
関東大会決勝トーナメント

さあ関東大会へ。二連覇目指しGO！

速いプレスの中でできるか



MF 石沢 哲

去年のチームがすごかったので、プレッシャーがかかる場所もあるかもしれませんが、キャプテンとして声を出したりして、みんなを緊張させることなく試合に臨ませたいと思っています。

県大会は簡単な試合は一つもありません

でしたが、みんなが一丸となって戦って勝てたと思います。その結果無失点で追われて良かったです。守備の意識が試合のたびに良くなってきました。

今年のチームは個人のうまさは去年よりあると思っています。関東大会は相手からのプレッシャーも速くなるでしょうから、その中で自分たちがどれくらいできるか楽しみです。

去年、二冠というすごい成績を挙げたので、それ

を一番の目標にして練習から頑張っていきたいと思っています。

上を見ずに1試合ずつ



DF 加瀬 光

県大会では決勝トーナメントになってからは気持ちが入ってきたんですが、予選リーグではなかなかうまくいなくて難しかったです。無失点だったんですが、自分自身のボールコントロールがうまく定まらなかったり、パスがうまくいかなかったり。試合を追って

修正されていったのかもしれませんが。

今年のチームは、去年と同じように全員で守って全員で攻撃するチームです。

関東大会では、上を見るのではなく1試合1試合を大事に戦っていきます。自分自身はヘディングで

競り負けないこと、得点につながるようなクロスを上げることを目標にしています。

チームを引っ張る自覚ある



FW 原口元気

技術は去年のチームの方があったかもしれないけれど、今年のチームは、気持ちが入っていると思います。

県大会は無失点で終わったのが良かったです。自分自身は去年も出ていたこともあり、少し余裕を持って試合に臨めました。

3年生になった自覚もありますし、試合で厳しい状況になっても、声を出したりして自分がチームを引っ張っていくことなど意識しています。

去年、チームが二冠取ったことはあまり意識していません。クラブユースには自分が出ていなかったの、今年こそ自分が優勝に貢献したいと思っています。

U-13チーム、トップの前座試合で鹿島、横浜Mに連勝

浦和レッズジュニアユースU-13は、5月7日、14日、トップの公式戦の前座試合に出場し、鹿島ジュニアユース、横浜Mジュニアユース新子安に連勝した。

7日、埼玉スタジアムで行われたJリーグ鹿島戦の前座試合では、前半相手の固い守備に阻まれ得点できなかったが、後半3分に堀田稜が決勝点を挙げた。また14日、日産スタジアムで行われたナビスコカップ横浜M戦では、横浜Mジュニアユース新子安と対戦し終始圧倒。前半11分、堀田が先制し、後半16分に矢島慎也が2点目を挙げた。17分、FKのこぼれ球を詰められて1返されたが、そのまま2-1で勝ちを収めた。



遠藤 拓



片 槇吾



立松和樹



鈴木悠太



堀田 稜



島貫央里



皆川孝之



玉城史也



平澤 遼



西山航平



仲田健太



野崎雅也

ジュニアユースの新しいメンバー

GK	馬屋原宏樹 (うまやはら・ひろき)	大宮春岡FC
MF	遠藤 拓 (えんどう・たく)	さいたま文蔵
GK	大石 祐輝 (おおいし・ゆうき)	長鶴
MF	片 槇吾 (かた・しんご)	鴻巣MJキッカーズ
DF	小出 啓太 (こいで・けいた)	さいたま北浦和
DF	塩田 純 (しおた・じゅん)	江南南
MF	島貫 央里 (しまぬき・えいり)	川口戸塚
FW	鈴木 悠太 (すずき・ゆうた)	東松山南
MF	関口 天翔 (せきぐち・つばさ)	朝霞いずみ
MF	立松 和樹 (たてまつ・かずき)	さいたま常盤
MF	玉城 史也 (たまき・ふみや)	横浜Mプライマリー
DF	仲田 健太 (なかだ・けんた)	さいたま大牧
DF	西山 航平 (にしやま・こうへい)	さいたま常盤
MF	野崎 雅也 (のざき・まさや)	所沢マッシュパップファローズ
FW	平澤 遼 (ひらさわ・りょう)	FC鶴ヶ島
FW	堀田 稜 (ほりた・りょう)	さいたま大牧
GK	松尾 大吾 (まつお・だいご)	さいたま道祖土
DF	皆川 孝之 (みながわ・たかゆき)	所沢
MF	矢島 慎也 (やじま・しんや)	さいたま北浦和

*全員中学1年生、右は前所属チーム